

令和7年度 西之島の郷 事業報告書

特別養護老人ホーム西之島の郷
短期入所施設西之島の郷
西之島の郷居宅介護支援事業所

1 西之島の郷 概要

施 設 の 名 称	特別養護老人ホーム西之島の郷
所 在 地	〒438-0041 静岡県磐田市西之島 26 番地 1
設 置 認 可 日	平成 20 年 3 月 12 日
事 業 の 種 類	

1	事 業 所 名	特別養護老人ホーム 西之島の郷
	介護保険事業種別	指定介護老人福祉施設
	事 業 所 番 号	2276900228
	定 員	80 名
2	事 業 所 名	短期入所施設 西之島の郷
	介護保険事業種別	指定（介護予防）短期入所生活介護
	事 業 所 番 号	2276900228
	定 員	20 名
3	事 業 所 名	西之島の郷 居宅介護支援事業所
	介護保険事業種別	指定居宅介護支援
	事 業 所 番 号	2276900228
	定 員	—

2 施設運営の状況

今年度も、先の見えない不安定な社会情勢が続くなか、物価高騰による食材費・消耗品費・人件費の費用増大や取引業者の委託費の改定等の課題に向き合う 1 年となりました。重点施策としていた、必須の施設設備の更新については、全館空調システムのアロエース 2 台の更新が終了しました。他の施設設備修繕の必須箇所についても、今後順次計画的な修繕を検討します。施設のスローガンとしていた生産性向上のテーマについては、生産性向上委員会の委員会活動を活性化し、施設として職員の主体性を尊重する運営体制の構築を図りました。また、慢性的な人材不足については、外国人技能実習生の活用を推進するとともに、働く職員が安心感・満足感を得られるような職場環境の充実を目指しました。年間の活動を通しては、ご家族様との関わりが以前よりも増え、外出やレクリエーション、ボランティア活動も活発化して「生活を楽しむ施設」としての施設運営に大きく舵取りが進んだ 1 年となりました。

今年度の職員の状況としては、本年度採用の新卒職員はおりませんでしたが、10 月に途中で 1 名の介護職員を採用しております。3 月に採用された 2 名の介護技能実習生も 9 月からは介護人員としてカウントされており、正規職員と同等とは言えませんが、それを含めると介護職員の欠員は改善が見られています。来年度秋頃には、介護技能実習生の 2 期生 2 名の採用も見込まれています。正規職員における退職者は、介護職員 1 名、居宅介護支援専門員 1 名の 2 名で離職率 4.4%となり、昨年度 3 名と同程度で低水準となっています。昨年度より取り組んでいる、生産性向上をスローガンとして、主体的に職員が安心・充実して働くことのできる職場環境の構築を目指す取り組みの成果が、少なからず結果として出ていると思われます。離職者数は多くはありませんが、採用職員も見込めないため、退職者が増えると職員欠員となるリスクを抱えている状況は変わりません。採用職員が見込めないのであれば、今いる職員が退職せずに続けていける働きやすい職場環境を、更には新たな採用職員の確保ができる職場環境を今後も目指してまいります。

ご入居者の状況としては、入居者数 28 名（前年度 35 名）、退居者数 26 名（前年度 36 名）と、

ともに過去最高の人数だった昨年度より少ない人数となりました。入院については、入院実人数は36名（前年度30名）、延人数は392名（前年度626名）と、昨年度より入院実人数は増えていますが、延人数は大幅に減少しています。入院1回あたりの入院日数が20.9日から10.9日と10も短くなっており、医療機関とりわけ磐田市立総合病院において医療報酬の兼ね合いからの出来るだけ早期の在宅復帰や療養管理への転院の動きが見て取れます。西之島の郷は生活施設としての位置付けであり、入院されているご本人およびご家族様も長期入院を希望されるケースは稀なので、これからも入院からの早期退院の動きについては医療機関と連携を取り円滑に対応して参ります。また、ご入居者そしてご家族様の多くが、可能であれば施設での最期までの生活を希望されているので、可能な限り見取りケアを含めた終末期までの生活施設としての役割りを果たして参ります。平均介護度は年度当初3.97から年度末3.96と同程度となっていますが、要介護2以下の入居者は特例入所の1名のみとなっており、入居者の重症化は年々進んでいると思われます。結果として、入居率は97.5%（前年度95.5%）と前年度より2.0%の増加となりました。入院延人数が626名から392名に減少し、退去者数も36名から26名と減少したことが入居率の増加となった要因です。年間空床数731床（前年度1,239床）のうち392床（前年度626床）の53.6%（前年度50.5%）が入院による空床となっており、入院による空床率は前年比とほぼ同数値となっています。入所待機による空床日数は平均12.1日（前年度17.5日）と前年より5日以上短縮となりましたが、入居待機者の早期の面談や事前連絡などを柔軟に行うことで空床日数を削減できました。入居のご案内後に即答いただけなかったり、医療機関からの退院調整の日数がある程度必要だったり課題も見受けられますが、コロナ禍以前は10日以内を目標としておりましたので更なる空床日数の削減を目指します。入所申込者・待機者については要介護1,2を含め95名、要介護3以上で入所意思のある申込者については57名となり、本年度の入所申込者総数は51名で昨年度39名を上回っています。本年度も近隣医療機関からの入居依頼が多数を占めており、退院からの入居希望者のニーズはより一層上がっているように思われます。反面、医療の必要性から入居対象者として判断が厳しい場合や、医療依存度が高く施設に入居されても短期間で転院を余儀なくされたりするケースも散見されています。そういった状況を踏まえ、今年度についても待機者の面談についてはできる限り早期に行い、入居可能な申込者の実態把握に努めました。

3 重点施策の取り組み状況

1 必須となっている施設設備の更新と、今後の施設設備・修繕計画の道筋を策定します。

令和6年10月から故障により稼働停止となっている空調設備アロエース1号機を更新しました。稼働中の2号機においても耐用年数の15年を経過していることから「エネルギー投資促進支援事業費補助金の設備単位型」の機器3割助成金制度を活用し、同時に更新を行っています。2号機においては更新直前に暖房設備が使用不可となる機器故障がありましたが、同時に2台更新したため現状は問題なく稼働しております。他にも、施設埋設給水管からの漏水修繕工事や、ポンプ等の機械設備の故障更新が例年以上に必要となりましたが、都度滞りなく対応致しました。厨房設備の機器更新については、現状、これから更新が必要となる機器も多いため、次年度以降必要に応じて対応して参ります。

また、令和8年度以降の大規模修繕助成金による今後の大規模な施設設備・修繕計画については補助申請限度額が高額であり、実施すると15年は再申請できないことや、西之島の郷の償還金が次年度の令和8年度で完済となることもあり、令和9年度以降の修繕計画として整備して参ります。

2 生産性向上を推進し、施設として安定・適正である運営体制の構築を目指します。

生産性向上の推進体制については、今年度から短期入所事業所でも生産性向上推進体制加算Ⅱの算定を開始しました。全職員が生産性向上をスローガンとして掲げられるよう、委員会活動を活性化し、特養事業部と短期入所事業部が相互に情報共有できるよう努めました。今年度の委員会活動としては、サービスサーベイにより各部署で職員による業務アンケートを実施し、課題の可視化をすることで「職員自らが自分たちで職場をより良くしていく」意識の向上に繋がりました。今年度抽出した課題については、委員会活動において来年度以降の協議と改善に活かしていきます。施設設備の更新についても、生産性向上を意識した委員会活動の動きと連動して、施設内における設備のICT化とデジタル化を推進し更なるDX化を目指しました。

また、BCBの運用については、更新内容を職員と情報共有する研修を実施し、口腔衛生管理や協力医療機関との連携については介護保険制度改定を踏襲した適正な運営管理に努めました。新たに導入したオンライン請求システム「つながる家族」については、お客様への案内とシステムへの移行が滞りなく進み、現在9割以上のお客様がオンライン請求システムに移行しています。

3 働く職員が安心感・満足感を得られるよう職場環境の充実を目指します。

処遇改善加算や介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業費補助金等を活用し、基本給の更なる改定と手当支給等の職員の処遇改善を図りました。また、介護リフトやICT機器等、職員の心身負担の軽減になるような福祉機器の導入については、生産性向上委員会の活動と連動して今年度も実施し、職員の働く意欲の向上を図りました。慢性的な人材不足が続いていますが、昨年3月よりフィリピンの外国人技能実習生2名の受入れを実施し、9月からは介護人員としてカウントされております。「教える側」と「教わる側」の相乗効果により職場環境の活性化を目指していますが、秋頃には、介護技能実習生の2期生2名の採用も見込まれています。

職員が安心・充実して働くことのできる職場環境を主体的に目指す取り組みが、離職者の数の軽減に少なからず繋がっていると思われますが、新規採用職員も見込めないため、退職者が増えると職員欠員となるリスクを常に抱えている状況です。採用職員が見込めないのであれば、今いる職員が退職せずに続けていける働きやすい職場環境を、更には新たな採用職員の確保ができる職場環境を目指してまいります。

4 各サービス及び各部署実績報告

1 特別養護老人ホーム

(1)介護部

1. 接遇力の向上に努め、お客様とのより質の高いかわりと個別支援を展開していきます。

福祉サービスに携わる職員として、ホスピタリティを重視することは当然の事であり、お客様に対しては共感的理解を意識したかわりが求められます。その前提としてお客様への言葉がけについて、失礼のない柔らかい丁寧な言葉「丁寧語」の活用と確認を行いました。職員個々に対応の差も見られますが、とげとげしい言葉は聞かれず優しいかわりが連鎖しているように感じられました。また、ケア向上委員会が主導したアンガーマネジメントの習得では、前年度に続き内部研修を全職員に開催しました。毎年、意識的に続けることで適切な対応ができるようになり、自分自身の感情を理解・整理し、適切にコントロールする心理的スキルを磨くことができたと思

われます。基本ケアとしては、食事、排泄、入浴の主な支援が、出来ないことや課題に視点が置かれがちであり、その人らしい生活と支援を結びつけることが、まだまだ足りていないと思われます。お客様のことを再アセスメントし個別支援を提供したいと考えます。

2. 「求められる介護福祉士像」を目標に、介護人材における介護レベルの底上げを図り、より踏み込んだ介護サービスを提供します。

介護職員の質的向上は、お客様の生活の質に直接反映されるため、介護職員の人材育成はより強固なものでなくてはなりません。日本介護福祉士会における「求められる介護福祉士像」に近づくことができるよう、今年度においても様々な研修関連における取組を行いました。内部研修では、年間計画の通り対面研修のメリットを生かした多くの学びがありました。併せて動画でのフォローアップ研修もハイブリットで行い、さまざまな知識を習得することができました。外部研修も昨年度より多くの職員がオンラインの他、会場参加での研修に参加させていただく機会がありました。12月に行った生産性向上委員会でのアンケート内容でも積極的に受けてみたい研修があるとの声もあり、そのモチベーションが維持できるようサポートしていきたいと思います。また、今年度の学卒採用はありませんでしたが、採用に至らなかった理由も幾つか考えられるため、反省の材料としていきたいと思います。今年度は、フィリピンからの技能実習生を迎えましたが、技能実習生の生活と育成に関するシステム作りを整備するとともに、日本語教育については、外部のオンライン研修にも頼りながらできる限り日本語でのコミュニケーションをとることを重視しました。課題は多くありますが、大きな事故やトラブルが起きることなく、1年間で大きな成長をすることができました。技能実習生2期生については2名の採用内定者が決定しており、秋頃に向けての受け入れ準備段階に入っているところです。

3. 業務改善における各備品の管理とシステムの構築に努めます。

お客様に質の高いケアを届けるために、日々の支援内容（直接的ケアと間接的業務）の見直しと併せて職員の負担軽減にも取り組み、生産性向上委員会や安全業務改善委員会を主体的に実施することでユニット運営の業務改善を図りました。今年度は、生産性向上委員会の活動として全職員に向けてアンケートを実施し、課題抽出による共有を行ったので、次年度以降では、その課題を踏まえた改善と実行を進めてまいります。また、福祉用具のマットレス購入や入浴リフトの設置なども随時おこない、介護機器の安全点検表の修正と改善を図ることで、備品の管理状況を可視化することが出来ました。

(2) 看護部

今年度も、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザウイルス感染症などに看護部のほとんどが罹患することなく健康を維持することが出来たため、業務が滞りなく行えた1年でした。来年度は、職員2名の勤務形態の変更により常勤職員が2名となり、一部の職員の負担が見込まれますので、オンコール報告の見直しなど負担の軽減も検討してまいります。お客様の医療ニーズが高くなり、受診や入院と業務が多くなっていますが、職員の必要数が確保できているため対応が来ています。引き続き、お客様の状態の変化に早期に気づき対応できるよう意識してまいります。来年度は常勤職員が2名となり、プライマリーナース体制が一部変更しますが、各フロアの担当が1名に集約されるので、安定した看護が提供できると思われます。

感染対策については昨年4月と今年2月に新型コロナウイルス感染症が発症しましたが、集団感染とはならず、同線ユニットまでに抑えることが出来ました。お客様に対する感染対策が継

続され、全職員が施設内に感染源を持ち込まない、拡げない対応（一処置・一業務）を意識出来ている結果だと思われます。職員の健康状態の充足が全ての感染症を予防するカギとなるため、今後は、職員の健康管理にも注視してまいります。今年度、新型コロナウイルス感染者は職員 6 名、お客様 11 名、インフルエンザ感染者は職員 11 名、お客様 0 名、ノロウイルス感染者は職員、お客様ともにおりませんでした。

褥瘡については、お客様の重度化により褥瘡のリスクが高い状況にて 1 名がステージⅣの褥瘡形成となりましたが、3 か月で軽快することができました。長期治療が予測された褥瘡を 3 か月で軽快できたことは、医師、看護職員、介護職員、管理栄養士など多職種との連携が大きかったと思われます。今後も早期発見、早期多職種連携をして褥瘡 0 に努めます。

(3)生活相談部・介護支援専門員

1. 安定した入居稼働率の維持

入所経路としては病院からが半数（14 人/28 人）で、そのうち、すずかけヘルスケアホスピタルからの紹介（10 人/14 人）が多くを占めています。ロングショートからも 8 名が入所しており、在宅からの入所はほとんどありません。今後も病院との良好な関係を図り、待機者の確保に努めてまいります。入院日数は昨年度からほぼ半減となり、1 人当たりの日数も減少しています。現在は、入院 7 日以降での退所提案を提示していますが、実質 2 週間程度は待機となっています。年間の退所者数は 26 名と昨年より減少しましたが、稼働率では年間で 97.5%と目標には届きませんでした。入院・退所者数は減少していますが、退所から入所までの空床期間の増大が稼働率減少の原因となっています。来年度については、入所日の調整方法の見直しや待機者の待機期間での連絡方法などを具体的に検討して参ります。

2. 科学的介護の推進

LIFE のケアプランへの展開・フィードバックデータの活用方法については、それぞれ加算管理を適切に行うとともに、今後さらに LIFE の活用を推進する必要があると思われます。フィードバックデータのユニット会議での検討や、サービス担当者会議での活用など、具体的な方法の展開や記録の整理を多職種で進めていきたいと考えます。

3. 社会資源としての役割を展開

本年度は、ボランティアの受け入れについてはフロアリーダーが中心となり活動し、定期的な訪問も大幅に増加しました。今後も様々なボランティア団体と連携し、訪問機会を増やしていきたいと考えます。地域活動については今年度も課題として残りますが、以前行っていた活動も振り返りながら、地域貢献について展開していきたいと考えます。

(4)栄養管理部

1. 栄養ケア・マネジメントの取組み

お客様の状態変化の対応に追われることも多々ありましたが、概ね計画に沿って実施することが出来ました。医療ニーズの高まりにより食事形態や提供方法が多様化していますが、整理を図りながら厨房と連携することで安全な食の提供に努めてまいります。新たな栄養・給食管理ソフトへの移行については、栄養評価の変更時期や業者・食材の変更と重なり対応に苦慮しました。まだ対応しきれていない所もあるため、スムーズに運用できるよう引き続き取り組んでまいります。

す。

2. 安心・安全な食の楽しみへの取り組み

衛生管理については、通年の課題として見直しを行いながら徹底して取り組み、安全に食事提供することができました。物価高騰や業者変更により通常メニューの維持が難しい場面もありましたが、都度、食材や献立の見直しを行い季節感のある食事提供に努めました。従来の食事提供を継続することの難しさもありましたが、西之島カフェ「ひなた珈琲店」を多職種の協力を得ながら7回開催し、季節に合わせたメニューや、その場で調理・提供する内容も取り入れ、楽しい時間を提供することができたと感じています。特におにぎりイベントは好評で、平均70個を提供するなど、多くのお客様に喜んでいただけました。今後も「食の楽しみ」を大切に、提供内容や方法について検討し取り組んでまいります。

(5) 事務部

1. 事業所の受付相談窓口として「笑顔」を絶やさず「気持ちの良い接客」を心掛けます。

お客様が窓口に来られた時は常に明るく「笑顔」での対応を心掛けましたが、まだまだ対応出来ていない部分もありました。来年度から事務所の窓口体制も変わりますので、来訪でお客様が来られた際は、ご挨拶を兼ねて直接顔を合わせて対応することで、お客様の安心感と満足感の向上に努めてまいります。

2. お客様に対する新たなオンライン請求システムの適正な運営管理に努めます。

本年度より新たなオンライン請求システムを導入していますが、生活相談部とも適時連携を取り、お客様への案内とオンライン請求システムへの移行が滞りなく進みました。現在9割以上のお客様がオンラインシステムに移行しています。

3. 物価高騰による購入資材の適正な収支管理と会計処理に努めます。

消耗品類の購入にあたっては、値上げするものについて新たな仕入れ先を検討するなど物価高騰に対する費用削減に努めました。光熱水費においては、今年度、高効率空調システムの更新を行ったこともあり、毎月の使用量の管理を適正に行いました。

2 ショートステイ

1. 感染防止対策を継続することで、安心・安全な事業所の利用環境を構築し、稼働率の維持・向上と事業所閉鎖等の事態を未然に防ぎます。

昨年度同様に一行動一消毒を実施し、安心・安全な事業所の利用環境構築に努めました。利用中のお客様からは感染者を出す事なく、事業所閉鎖も未然に防ぐことが出来ました。職員についてはコロナ感染者が数名おりましたが、勤務調整を柔軟に行うことで滞りなくお客様の支援にあたりました。

2. ご利用者の重度化、個別化に対応できるよう介護技術・知識の修得に努めます。

ご利用者の状態や変化に合わせ、ユニット会議時または個別に介護職員への技術指導をユニットリーダー主体に行いました。ご利用者の重度化に伴い職員の腰痛も懸念されたため、移乗用リフトのデモンストレーション等含め、腰痛予防に努めました。

3. 生産性を向上させることにより、職員の心身の負担軽減と健康の保持、職場環境の充実化を図ります。

4月1日からの算定開始に伴い、厚生労働省生産性ガイドラインに基づく職場改善に取り組みました。今年度は11項目の業務改善に取り組み、職場におけるストレスを83.9%減少させることが出来ました。併せて快適な職場環境になった(89%)など、十分な環境改善を図る事が出来ました。

◇令和7年度ショートステイ職員目標◇

職員一丸となり生産性向上に取り組むことで

利用者・家族・職員にとって過ごしやすく働きやすい事業所を目指していきます。

3 居宅介護支援事業

本年度は、取扱件数のインセンティブ導入による件数の上乗せや、ケアプランデーター連携システムの運用の推進による、法人スケールメリットを活かした事業展開を目指しました。年度末に主任介護支援専門員の管理者が退職となり、居宅ケアマネ2名による運営となったため特定事業所加算の算定の継続も出来なくなりましたが、6月より主任介護支援専門員の管理者1名と介護支援専門員1名の計2名の採用が見込まれており4名体制となる予定です。出来るだけ早期に居宅介護支援事業所の運営体制の再構築を目指してまいります。処遇改善加算の新たな導入による居宅ケアマネの処遇改善や、令和9年度介護保険制度改正で審議されている、サ高住や住宅型有料老人ホームのケアマネジメンの在り方やケアプラン有料化の動向についても注視してまいります。

5 職員配置の状況

一 職員数

令和8年3月31日現在
単位（人）

			施設長	医師	生活相談員	介護支援専門員	介護職員					看護職員			管理栄養士	事務員	音楽療法士	洗濯・家事援助・その他	運転手	合計
							介護福祉士	実務者研修	ヘルパー・二級 初任者研修	その他・無資格	計	看護師	准看護師	計						
特別養護老人ホーム	常勤	男	1		1	1	8	3	0	2	13	1		1						17
		女					13	0	1	1	15	1	1	2	1				18	
		計	1		1	1	21	3	1	3	28	2	1	3	1				35	
	非常勤	男	実人数		1		2				2					1		2		6
			常勤換算		0.1		1.3				1.3					1		1		3.4
		女	実人数				5		1	5	11	3		3		2	1	5		22
			常勤換算				3.3		0.8	4	8.1	2.3		2.3		1.3	0.1	2.8		14.6
		計	実人数		1		7		1	5	13	3		3		3	1	7		28
			常勤換算		0.1		4.6		0.8	4	9.4	2.3		2.3		2.3	0.1	3.8		18
	ショートステイ	常勤	男			1		2				2								3
女							3		1		4	1		1					5	
計					1		5		1		6	1		1					8	
非常勤		男	実人数				1				1									1
			常勤換算				0.4				0.4									0.4
		女	実人数				2		1	1	4									4
			常勤換算				1.5		1	0.5	3									3
		計	実人数				3		1	1	5									5
			常勤換算				1.9		1.0	0.5	3.4									3.4
居宅	常勤	男				2													2	
		女				1													1	
		計				3													3	
全体		実人数	1	1	2	4	36	3	4	9	52	6	1	7	1	3	1	7	79	
		常勤換算	1.0	0.1	2.0	4.0	32.5	3.0	3.8	7.5	46.8	5.3	1.0	6.3	1.0	2.3	0.1	3.8		67.4

※兼務の職員は主たる職種に記載。休暇・休業中の職員及び派遣職員を除く。

二 職員の平均年齢・勤続年数・入退職の状況

令和8年3月31日現在

			平均年齢（歳）			平均勤続年数（年）			入職者（人）			入職率	退職者（人）			退職率
			介護職員	看護職員	職その他	介護職員	看護職員	その他	介護職員	看護職員	その他		介護職員	看護職員	その他	
特養ホーム	常勤	男	40.2	52.0	54.3	10.7	11.0	23.5				0.0%				0.0%
		女	36.4	56.0	42.0	7.5	5.0	12.0	1			5.6%				0.0%
		計	38.1	54.7	51.3	8.9	7.0	20.6	1			2.9%				0.0%
	非常勤	男	54.5		54.3	10.3		8.6				0.0%			1	16.7%
		女	43.8	60.3	71.3	9.2	7.4	7.7			1	4.5%			1	4.5%
		計	45.5	60.3	65.7	9.4	7.4	8.0			1	3.6%			2	7.1%
ショート	常勤	男	30.5		50.0	9.2		17.0				0.0%				0.0%
		女	35.8	65.0		8.5	9.2					0.0%	1			20.0%
		計	34.0	65.0	50.0	8.0	9.2					0.0%	1			12.5%
	非常勤	男	51.0			0.5			1			100.0%	1			100.0%
		女	45.5			10.9						0.0%				0.0%
		計	46.6			8.8			1			20.0%	1			20.0%
居宅	常勤	男			48.5			15.4				0.0%			1	50.0%
		女			61.0			8.5				0.0%				0.0%
		計			52.7			13.1				0.0%			1	33.3%

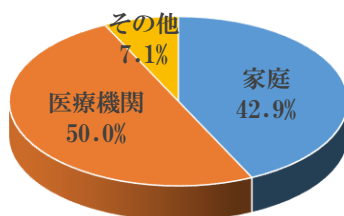
6 サービス提供の状況（入所サービス）

一 特別養護老人ホーム入退居の状況

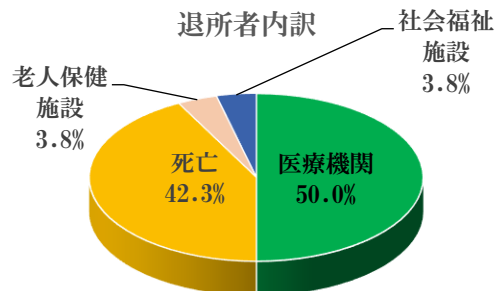
単位（人）

区分		新規入居者数						退居者数							月末 在籍者 数
		医療 機関	社会 福祉 施設	家 庭	老人 保健 施設	そ 他	計	医療 機関	社会 福祉 施設	家 庭	老人 保健 施設	死 亡	そ 他	計	
R4年 4月	男	1					1								20
	女	2					2	1						1	60
	計	3					3	1						1	80
5月	男	2		1			3	3				2		5	20
	女	2		1			3	3				2		5	58
	計														78
6月	男	1					1				1			1	20
	女	1		1			2	1						1	59
	計	2		1			3	1			1			2	79
7月	男	1					1								21
	女	1					1					1		1	58
	計	1					1					1		1	79
8月	男			1			1	1						1	20
	女			1			1	1				1		2	57
	計							2				1		3	77
9月	男	1					1	1						1	20
	女	1		2			3								60
	計	2		2			4	1						1	80
10月	男			1			1	1	1					2	19
	女					1	1					1		1	60
	計			1		1	2	1	1			1		3	79
11月	男			1			1					1		1	18
	女	1		1		1	3					1		1	62
	計	1		1		1	3					2		2	80
12月	男	1					1								19
	女			1			1	1				2		3	60
	計	1		1			2	1				2		3	79
R5年 1月	男														19
	女														60
	計														79
2月	男							1				1		2	17
	女			2			2					1		1	61
	計			2			2	1				2		3	78
3月	男														17
	女	2		2			4	2						2	63
	計	2		2			4	2						2	80
合計	男	5		1			6	4	1		1	2		8	
	女	9		11		2	22	9				9		18	
	計	14		12		2	28	13	1		1	11		26	

新規入居者内訳



退所者内訳

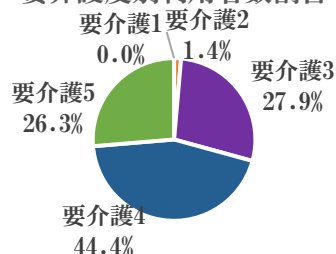


二 特別養護老人ホーム要介護度別サービス提供日数

単位（人）

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度	入居率
4月	男	0	30	150	270	147	597	3.97	96.6%
	女	0	0	491	750	480	1,721		
	計	0	30	641	1,020	627	2,318		
5月	男	0	31	155	279	155	620	3.94	96.0%
	女	0	0	550	750	461	1,761		
	計	0	31	705	1,029	616	2,381		
6月	男	0	30	163	270	150	613	3.92	98.5%
	女	0	0	548	780	422	1,750		
	計	0	30	711	1,050	572	2,363		
7月	男	0	31	155	309	155	650	3.93	99.0%
	女	0	0	586	753	465	1,804		
	計	0	31	741	1,062	620	2,454		
8月	男	0	31	137	310	147	625	3.95	97.4%
	女	0	0	532	797	461	1,790		
	計	0	31	669	1,107	608	2,415		
9月	男	0	30	115	273	176	594	3.98	97.5%
	女	0	0	540	724	483	1,747		
	計	0	30	655	997	659	2,341		
10月	男	0	31	85	279	178	573	4.02	97.8%
	女	0	0	527	779	547	1,853		
	計	0	31	612	1,058	725	2,426		
11月	男	0	30	120	240	150	540	3.98	98.2%
	女	0	0	523	793	501	1,817		
	計	0	30	643	1,033	651	2,357		
12月	男	0	31	124	253	155	563	3.94	97.3%
	女	0	4	536	868	441	1,849		
	計	0	35	660	1,121	596	2,412		
1月	男	0	31	139	233	155	558	3.93	95.8%
	女	0	25	495	868	431	1,819		
	計	0	56	634	1,101	586	2,377		
2月	男	0	28	153	168	135	484	3.98	97.8%
	女	0	0	429	810	467	1,706		
	計	0	28	582	978	602	2,190		
3月	男	0	31	186	186	124	527	3.95	98.2%
	女	0	0	496	905	507	1,908		
	計	0	31	682	1,091	631	2,435		
合計	男	0	365	1,682	3,070	1,827	6,944	3.96	97.5%
	女	0	29	6,253	9,577	5,666	21,525		
	計	0	394	7,935	12,647	7,493	28,469		

要介護度別利用者数割合



特養入居者の入院者数（延人数）



三 特別養護老人ホーム入居者の入院者数

単位（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	4	4	0	2	4	3	2	3	3	6	2	3	36
延人数	43	41	0	22	31	32	33	16	50	71	19	34	392

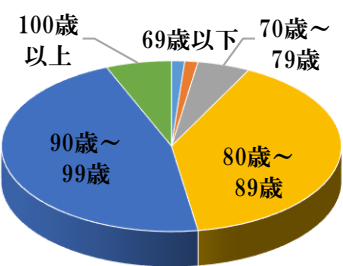
※入・退院日を除く

四 特別養護老人ホーム 年齢、性及び入所期間別入居者数

令和8年3月31日現在
単位（人）

区分		入居期間								合計
		6ヶ月未満	6月以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上7年未満	7年以上9年未満	9年以上11年未満	11年以上	
64歳以下	男				1					1
	女									
	計				1					1
65歳～69歳	男				1					1
	女									
	計				1					1
70歳～79歳	男			1						1
	女	1	1				1			3
	計	1	1	1			1			4
80歳～89歳	男	1	1	4						6
	女	5	4	9	2	3	2	1		26
	計	6	5	13	2	3	2	1		32
90歳～99歳	男	1	1	4	1	1				8
	女	5	2	10	3	5	2	1	1	29
	計	6	3	14	4	6	2	1	1	37
100歳以上	男									
	女		1		1	2			1	5
	計		1		1	2			1	5
合計	男	2	2	9	3	1				17
	女	11	8	19	6	10	5	2	2	63
	計	13	10	28	9	11	5	2	2	80

平均年齢	男性	87歳3か月	全体	89歳10か月
	女性	91歳5か月		
平均入所期間	男性	2年0か月	全体	2年10か月
	女性	3年1か月		

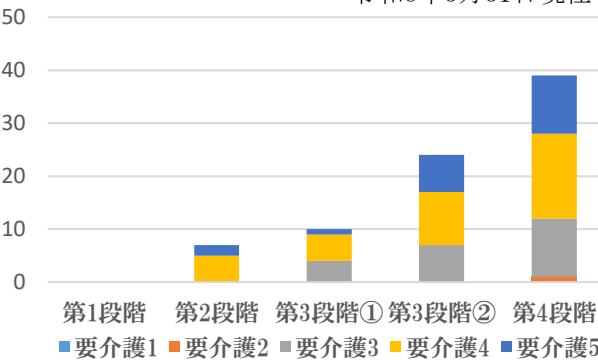


入所者年齢構成

五 特別養護老人ホーム入居者の介護保険利用者負担段階

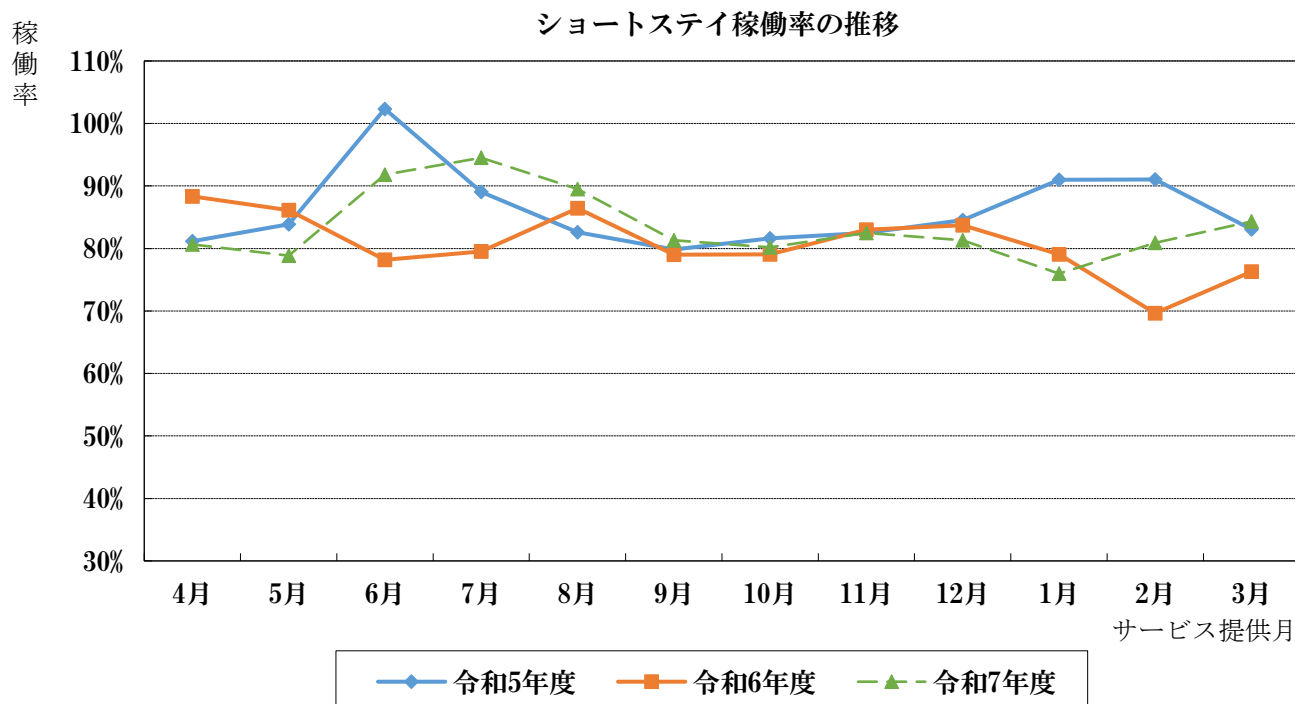
令和8年3月31日現在

単位（人）						
	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階	計
要介護1						0
要介護2					1	1
要介護3			4	7	11	22
要介護4		5	5	10	16	36
要介護5		2	1	7	11	21
計	0	7	10	24	39	80



ショートステイ 要介護度別延利用者数

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数（日）			30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
定員数（人）			20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
利用者数	要支援1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	2	0	8
		計	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	2	0	8
	要支援2	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	2	4	3	3	3	3	3	3	3	3	2	4	36
		計	2	4	3	3	3	3	3	3	3	3	2	4	36
	要介護1	男	6	6	3	3	3	3	5	0	9	3	3	8	52
		女	23	47	54	25	22	27	24	25	31	30	22	22	352
		計	29	53	57	28	25	30	29	25	40	33	25	30	404
	要介護2	男	53	68	69	40	40	31	46	43	34	27	27	44	522
		女	85	64	70	81	79	63	72	78	105	118	112	130	1,057
		計	138	132	139	121	119	94	118	121	139	145	139	174	1,579
	要介護3	男	16	5	39	97	97	90	66	64	66	66	59	66	731
		女	88	76	94	111	82	96	112	102	66	62	79	91	1,059
		計	104	81	133	208	179	186	178	166	132	128	138	157	1,790
	要介護4	男	0	0	0	0	0	0	0	20	30	29	28	29	136
		女	151	141	129	131	136	123	138	130	136	133	119	129	1,596
		計	151	141	129	131	136	123	138	150	166	162	147	158	1,732
	要介護5	男	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		女	60	78	90	93	93	46	31	30	24	0	0	0	545
		計	60	78	90	95	93	46	31	30	24	0	0	0	547
	合計	男	75	79	111	142	140	124	117	127	139	125	117	147	1,443
		女	409	410	440	444	415	364	380	368	365	346	336	376	4,653
		計	484	489	551	586	555	488	497	495	504	471	453	523	6,096
平均利用者数（人）			16.1	15.8	18.4	18.9	17.9	16.3	16.0	16.5	16.3	15.2	16.2	16.9	16.7
稼働率（%）			80.7	78.9	91.8	94.5	89.5	81.3	80.2	82.5	81.3	76.0	80.9	84.4	83.5
前年比（%）			91.3	91.6	117.5	118.9	103.5	103.0	101.4	99.4	97.1	96.1	116.2	110.6	103.4



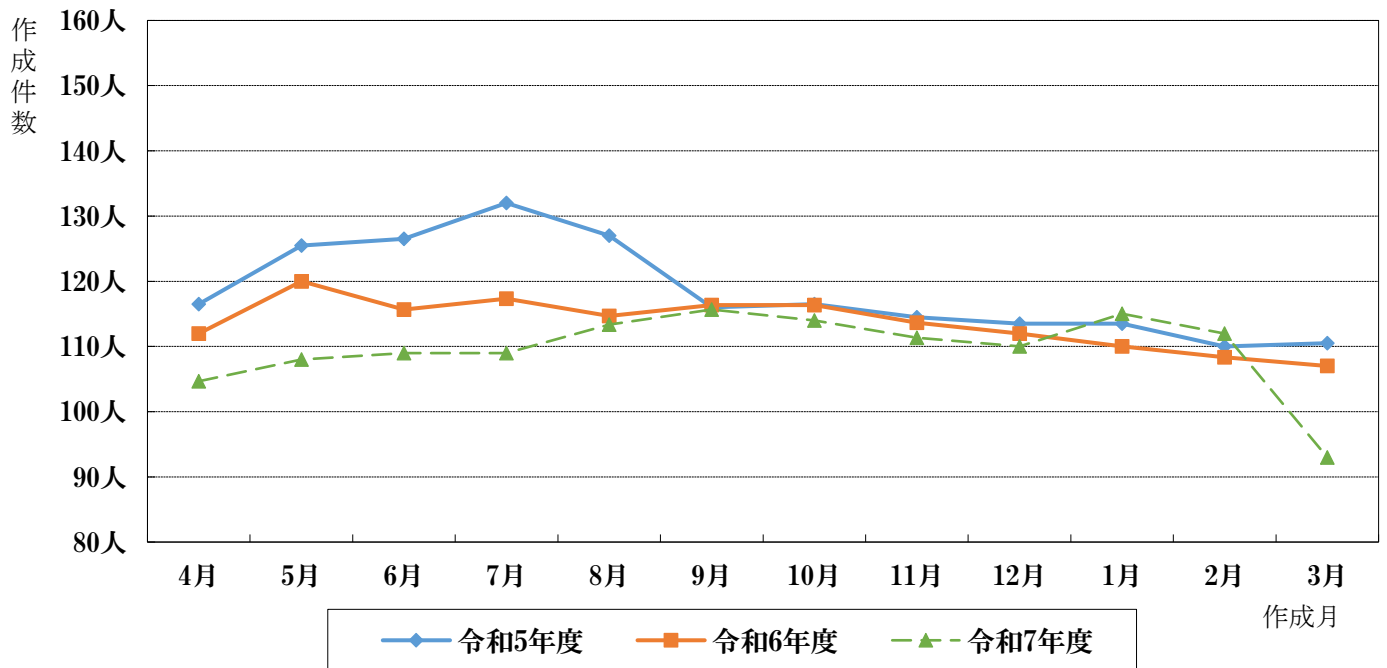
居宅介護支援事業所 ケアプラン作成件数

単位（円）

	配置人員	区分	要介護	要支援	計
令和7年4月	3	件数	95	29	104.7
		給付費	1,431,235	151,734	1,582,969
5月	3	件数	99	27	108.0
		給付費	1,619,246	114,507	1,733,753
6月	3	件数	100	27	109.0
		給付費	1,619,936	126,085	1,746,021
7月	3	件数	100	27	109.0
		給付費	1,610,059	120,633	1,730,692
8月	3	件数	104	28	113.3
		給付費	1,726,326	126,759	1,853,085
9月	3	件数	106	29	115.7
		給付費	1,641,216	118,748	1,759,964
10月	3	件数	104	30	114.0
		給付費	1,701,143	136,419	1,837,562
11月	3	件数	101	31	111.3
		給付費	1,564,108	137,597	1,701,705
12月	3	件数	100	30	110.0
		給付費	1,559,166	133,356	1,692,522
令和8年1月	3	件数	105	30	115.0
		給付費	1,557,469	126,052	1,683,521
2月	3	件数	102	30	112.0
		給付費	1,219,826	122,989	1,342,815
3月	3	件数	86	21	93.0
		給付費	988,224	76,338	1,064,562
合計		件数			0.0
		給付費	18,237,954	1,491,217	19,729,171

※計の要支援（介護予防）件数は、令和5年度まで1/2件、令和6年度から1/3件として計算

ケアプラン作成件数の推移



一 事故の発生状況

	転倒・転落	誤嚥	異食	誤薬	車輦事故	その他	合計
特養ホーム	3						3
ショートステイ	1						1

※保険者への報告を行った介護事故（車輦事故は警察への届出）の発生件数を記載しています。

二 感染症の集団発生

報告基準に該当する感染症の集団感染はありませんでした。

三 寄せられたご意見・苦情

受付日	区分	申出人	内容	対応
R7. 4. 3	特養	お客様	3Fフロアの共用の新聞を読まれる際に、他の方が指を舐めてめくっており不衛生です。みんなが読むものであるため、やめてほしいとお客様よりご要望がありました。	紙めくりスポンジを用意し、新聞を読みに来られたお客様にその都度声掛けしました。
R7. 7. 28	特養	ご家族	来客用のスリッパが脱げやすく歩きづらいです。また、ペタペタという音が気になります。音が静かな歩きやすいスリッパを用意していただければと思います。	脱げにくい仕様のクッション性のあるスリッパを用意しました。今後も備品の見直しに努めてまいります。
R7. 7. 30	特養	匿名様	施設への要望として、毎日の生活の中での特記など簡単でいいのですが、部屋にメモノートを置いていただくとありがたいです。情報交換として役立つと思います。ご検討をお願い致します、と匿名のご意見がありました。	今現在は、ご面会時に日頃の出来事などを職員より直接お伝えできたらと考えております。また、玄関のご意見箱の用紙を改訂し、ご利用者氏名、ご家族様氏名のご記入欄を設けさせていただきました。
R7. 11. 2	特養	ご家族	下肢筋力の維持向上のため太陽の広場にて立ち上がり動作を行っているが、より本格的にリハビリを行いたく、平行棒の設置をしてほしい、とご家族よりご要望がありました。	平行棒設置は専任職員・環境面から現状は困難であるためサービス担当者会議によりリビング自席、ベッドから車イス等において立ち上がり動作の一部介助をケアプランに追加し筋力維持に努めるようにしました。また、ご家族の希望もあり訪問マッサージについても進め、ご家族からは感謝のお言葉をいただいております。
R8. 3. 12	特養	お客様	同じユニットの他の居室からのテレビの音が大きくて気になります。もう少し小さな音にしてもらえよう伝えてください、とお客様よりご要望がありました。	ご本人に現状をお伝えし、気にかけていただくようお願いしました。また、職員も音が大きいと感じた時にはすぐに調整対応をして様子を見させていただくようにしました。
R8. 3. 18	特養	ご親戚	お花見の季節になったので、安全のため職員の付き添いにて一緒に外出をしたいですと、ご親戚よりご要望がありました。	担当職員付き添い、つつじ公園に行きました。たいへん喜ばれていました。

四 介護相談員の主な相談内容

相談日	区分	内容	対応
R7. 4. 1	特養	3F入居者様から、給食の仕事に就いていた、物価高で食事の質が落ちてきているのがわかるとお話しされている方がいました。また、2F入居者様から糖尿病があるため食事に味が無い、入院、骨折で体重が落ちたがここに来てまた落ちた。しょうゆ、マヨネーズを家族に持つてくるよう伝え、かけてご飯を食べている。この前蕎麦が出てきた時は短いのが2本だけ入っていたと話されていた方がいました。	入居者様のご意見を担当職員に伝え周知しました。配膳の際には、具材や麺がしっかりと入るように気を付けていきます。
R7. 5. 13	特養	看護師さんに優しく声掛けをしていただきやる気ができましたとお話してくれた入居者様がいらっしゃいました。また、2F入居者様から口の中に違和感があるとお話がありました。詳しくお話を聞いてあげてください。	看護師の声掛けで前向きな気持ちになっていただけてよかったです。口内の違和感については担当職員から入居者様にお話をお伺いして確認させていただきま
R7. 6. 17	特養	食事について、たまに温かくすべきものが冷たいまま提供されることがあるため改善してほしいとお話がありました。2F入居者様からお尻が痛いとお話がありました。座り直しを職員にお願いするとすぐに対応していただきました。ご本人には柔らかいクッションをご提案したところ、欲しいとのことでした。	温かくすべきものを冷たいまま提供してしまったということで、申し訳ありませんでした。今後はこのようなことが無いよう職員全体で情報を共有し気を付けてまいります。
R7. 7. 22	特養 ショート	特にありません。	承知いたしました。 ありがとうございました。
R7. 8. 20	特養 ショート	2F入居者様から「この食事は味が薄くてまずい。」とお話がありました。3Fの入居者様が塗り絵をしていましたが、芯が折れて使えない色鉛筆が混ざっていました。3F職員の方がとても感じよく対応してくださいました。	有難いお言葉をいただきありがとうございます。色鉛筆については、芯が折れたままのものを入居者様にお渡ししないよう、介護職員に伝え周知しました。
R7. 9. 3	特養 ショート	音楽療法が楽しいとお話がありました。また2Fの女性入居者様は食事がおいしいとお話してくださいました。	入居者様に音楽療法を楽しんでいただけてよかったです。今後も皆様に楽しんでいただけるイベント等を考えていきます。
R7. 10. 22	特養 ショート	4月に食事の件で味が薄いとおっしゃっていた方とお話ししましたが、今日は食事についての話はありませんでした。3F女性入居者様から退屈だと訴えがありました。	介護職員と相談内容を共有し、少しでも有意義なお時間を過ごしていただけるよう心掛けたいと思います。
R7. 11. 5	特養 ショート	特にありません。	承知いたしました。 ありがとうございました。
R7. 12. 24	特養	2Fと3Fの男性入居者様から音楽療法が楽しめで、リクエストに答えてくれるので嬉しい、お楽しみ会の回数が増えたらいいなどお話がありました。2Fの女性入居者様から職員さんに頼み事をした時に「忙しいから」などときつい言葉が返ってくることがありつらいです、とお話がありました。	入居者様に音楽療法を楽しんでいただけてとてもうれしいです。今後も楽しんでいただけるイベントを考えていきたいと思います。職員の対応については、入居者様につらい思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。職員に対しては研修等も行っていますが、一層気を付けるよう周知していきます。
R8. 3. 18	特養	2Fの男性入居者様が折り紙をととても上手に折られていました。他の入居者様もレクリエーションとして一緒に関われたらいいのではないかとご提案がありました。	貴重なご提案をいただきありがとうございます。職員間でご提案いただいた内容を共有し、レクリエーション活動としてできるよう検討していきます。

五 ご寄附

日付	寄附者氏名	寄附内容	目的	区分
R7. 8. 31	宮口厚様	お米 30kg	お客様の為	特養
R7. 9. 5	JA遠州中央農業協同組合	新米 5kg×2袋	お客様の為	特養
R7. 9. 10	藤本雅江様	新米 30kg	お客様の為	特養
R7. 10. 6	元場克彦様	新米 10kg×3袋	お客様の為	特養
R7. 11. 20	株式会社メロー静岡	メロン 21個	お客様の為	特養
R7. 12. 17	テクノ矢崎株式会社	オイルヒーター 12台	お客様の為	特養
R8. 1. 13	宮口厚様	お米 30kg	お客様の為	特養

六 行事の実施状況（施設入所）

名称	開催日	参加者	備考
出張ひなた珈琲店～南国風～	R7. 4. 3	全お客様	移動喫茶サービス
お花見ドライブ	R7. 4. 8	3Fユニットより12名	磐田市内ドライブ
春のドライブ	R7. 4. 10	ときわ街5名	つつじ公園・見付天神
お花見ドライブ	R7. 4. 9	ひかり街3名	つつじ公園・見付天神
お花見ドライブ	R7. 4. 10	めぐみ街2名	磐田市内・菜の花畑
季節のドライブ	R7. 5. 31	みそら街2名	磐田市内ドライブ
お買い物とピクニック	R7. 6. 2	きぼう街3名	洋服店・今之浦公園
映画観賞会	R7. 6. 6	2F・3F・ショートより20名	時代劇等を2本上映
粉もんパーティー	R7. 6. 13	みのり街・ひかり街より20名	お好み焼き・焼きそば作り
ひなた珈琲店～夏至の食～	R7. 6. 25	全お客様	移動喫茶サービス
映画観賞会	R7. 6. 26	2F・3F・ショートより20名	リクエストがあった映画を上映
ひなた珈琲店～小暑の食～	R7. 7. 3	全お客様	移動喫茶サービス
お買い物ツアー	R7. 6. 23	きぼう街3名	磐田市内買い物ツアー
実習生と外出	R7. 7. 2～15	各日お客様1名・実習生1名	磐田市内飲食店等へお出かけ
ひなた珈琲店～古古米おにぎり～	R7. 7. 17	全お客様	移動喫茶サービス
おやつ作り	R7. 7. 30	つばさ街4名	パンケーキ・アイス作り
誕生日会～100歳のお祝い～	R7. 8. 5	みどり街5名	プリンアラモード作り
納涼祭	R7. 8. 21	全お客様	縁日・軽食
移動おにぎり屋台～新米～	R7. 9. 25	全お客様	移動屋台で新米のおにぎりを提供
西之島・蛭池 祭典	R7. 10. 12	全お客様	施設内で屋台の引き回し
ひなた珈琲店～秋の収穫祭～	R7. 10. 16	全お客様	喫茶サービス
季節のドライブ	R7. 11. 27	めぐみ街2名、みそら街1名	磐田市内ドライブ・豊田香りの公園
ひなた珈琲店～冬メニュー～	R7. 12. 1	全お客様	喫茶サービス
四季を感じる季節湯～冬至～	R7. 12. 22～24	ショート全お客様	柚子湯・季節写真の掲示
クリスマスパレード	R7. 12. 25	全お客様	サンタよりお菓子の配布
特養新年会	R8. 1. 18	全お客様	合唱・書初め・くじ引き等
ショートステイ新年会	R8. 1. 20	ショート全お客様	福笑い・書初め等
初詣とお茶会	R8. 1. 20	きぼう街2名	初詣とお茶菓子の購入
四季を感じる季節湯～春分～	R8. 3. 20～26	ショート全お客様	季節の入浴剤・季節写真の掲示
いちご狩り	R8. 3. 23	きぼう街6名	いちご狩り

七 クラブ活動・日常生活支援・アクティビティの実施状況

今年度のクラブ活動等の実施はありませんでした。

10 職員教育

一 内部研修の開催状況

名称（新人研修）	開催日	備考
令和7年度新任職員研修	R7. 4. 1～2	介護職員6名
令和7年度新任職員導入研修	R6. 4. 3～7	介護職員6名
身体拘束廃止研修・虐待防止研修	R7. 5. 8	介護職員3名

名称（新人研修）	開催日	備考
感染症・食中毒防止研修	R7. 6. 12	介護職員2名
介護事故防止研修	R7. 7. 10	介護職員2名
褥瘡の発生防止研修	R7. 8. 14	介護職員3名
看取り介護研修	R7. 9. 11	介護職員3名
アンガーマネジメント研修	R7. 10. 9	介護職員3名
個人情報保護研修	R7. 11. 13	介護職員3名
災害BCP対策研修	R7. 12. 29	介護職員3名
要望・苦情受付研修	R8. 1. 8	介護職員3名
腰痛予防と労働安全衛生	R8. 2. 12	介護職員2名
本年度の振り返りと今後の抱負	R7. 3. 12	介護職員3名

名称（ユニットリーダースキルアップ研修）	開催日	備考
事業計画、目標管理、BCP、リスクマネジメント研修	R7. 5. 15	施設長、FL2名、UL10名、他部署3名
ユニ・チャーム排泄ケア研修	R7. 6. 19	FL2名、UL2名、CW4名
虐待防止研修	R7. 7. 17	FL3名、UL6名
アンガーマネジメント・看取り介護、チームワークの向上に関する研修	R7. 9. 18	FL2名、UL7名
メンタルヘルス研修	R7. 10. 16	FL2名、UL7名
感染症対策研修	R7. 11. 20	FL2名、UL8名、他部署2名
BCP研修	R7. 12. 18	施設長、FL2名、UL7名
排泄研修	R7. 12. 18	施設長、FL3名、UL8名、他部署1名
褥瘡発生防止研修	R8. 1. 15	FL3名、UL10名
身体拘束廃止研修	R8. 2. 19	FL2名、UL10名、他部署1名
令和7年度 年度末報告会研修	R8. 3. 19	施設長、FL3名、UL10名、他部署3名

名称（職務別研修）	開催日	備考
非常勤職員研修 事業計画の確認	R7. 5. 15	CW14名、他部署2名
3年次研修	R7. 6. 5	CW2名
2年次研修	R7. 11. 6	CW3名
SS生産性向上研修 申し送りについて	R7. 11. 19	CW4名
SS生産性向上研修 申し送りについて	R7. 11. 26	CW5名

名称（テーマ別研修）	開催日	備考
施設サービス向上研修 事業計画、目標管理、BCP研修	R7. 4. 10	CW13名
施設サービス向上研修 事業計画、目標管理、BCP研修	R7. 4. 17	FL3名、CW6名、他部署5名
ユニ・チャーム排泄ケア研修	R7. 5. 20	CW2名
施設サービス向上研修 リスクマネジメント研修	R7. 5. 22	CW5名
ユニ・チャーム排泄ケア研修	R7. 6. 19	FL2名、UL2名、CW4名
施設サービス向上研修 看取り介護研修	R7. 6. 26	CW6名
施設サービス向上研修 虐待防止研修	R7. 7. 24	CW7名
施設サービス向上研修 虐待防止研修	R7. 8. 28	FL1名、UL1名、CW6名
やまなか歯科院長：口腔研修 一回目	R7. 8. 29	施設長、CW15名、他部署4名
施設サービス向上研修 メンタルヘルスケア研修	R7. 9. 25	CW8名
施設サービス向上研修 褥瘡発生防止研修	R7. 10. 23	CW5名
施設サービス向上研修 感染症研修	R7. 11. 20	FL1名、UL8名、CW11名、他部署3名
施設サービス向上研修 BCP研修	R7. 12. 25	UL1名、CW9名
施設サービス向上研修 BCP対策研修	R8. 1. 22	CW6名
施設サービス向上研修 身体拘束廃止研修	R8. 2. 26	CW13名
やまなか歯科院長：口腔研修二回目	R8. 2. 27	施設長、FL3名、CW9名、他部署3名
施設サービス向上研修 身体拘束廃止研修	R8. 3. 26	CW13名

名称（フォローアップ研修ネット配信）	開催日	備考
自身の介護をふRE返ろう！① ～利用者さんとの出会いの前に～	R8. 5	全職員
自身の介護をふRE返ろう！② 加齢の影響	R8. 5	全職員
自身の介護をふRE返ろう！③ プライバシーについて	R8. 6	全職員
介護リーダー養成研修① 介護リーダとは	R8. 6	ユニットリーダー
自身の介護をふRE返ろう！④ 介護福祉サービス 他職種との連携	R8. 7	全職員
接遇マナー研修① ディズニーにおける接客	R8. 7	全職員
自身の介護をふRE返ろう！⑤ 利用者・他職種との連携①	R8. 8	全職員
介護リーダー養成研修② 悩みを解決する6つのステップⅠ	R8. 8	ユニットリーダー
自身の介護をふRE返ろう！⑥ 利用者・他職種との連携②	R8. 9	全職員

名称(フォローアップ研修ネット配信)	開催日	備考
接遇マナー研修② 素敵な笑顔の4つのポイント	R8. 9	全職員
自身の介護をふRE返ろう！⑦ 認知症について	R8. 10	全職員
介護リーダー養成研修③ 悩みを解決する6つのステップⅡ	R8. 10	ユニットリーダー
自身の介護をふRE返ろう！⑧ 認知症の人の気持ちの理解	R8. 11	全職員
接遇マナー研修③ あいさつの2つのポイント	R8. 11	全職員
自身の介護をふRE返ろう！⑨ リスク	R8. 12	全職員
介護リーダー養成研修④ 悩みを解決する6つのステップⅢ	R8. 12	ユニットリーダー
自身の介護をふRE返ろう！⑩ 虐待・身体拘束	R9. 1	全職員
接遇マナー研修④ コミュニケーション要素「聞く」	R9. 1	全職員
自身の介護をふRE返ろう！⑪ 「こころ」と「からだ」①	R9. 2	全職員
接遇マナー研修⑤ コミュニケーション要素「伝える」	R9. 2	全職員
自身の介護をふRE返ろう！⑫ 「こころ」と「からだ」②	R9. 3	全職員
接遇マナー研修⑥ 接客ワンポイントレッスン	R9. 3	全職員

二 外部研修の参加状況

名称	開催日	出席者	主催者
老施協管理者研修会（生産性向上研修）	R7. 5. 27	1名	静岡県老人福祉施設協議会
福祉施設職員の接遇マナーの理解と向上	R7. 7. 8	4名	静岡県老人福祉施設協議会
老施協西部支部管理者研修会（建築物の長寿命化）	R7. 7. 30	1名	県老施協西部支部
どうすればチームワークの向上に貢献できる職員になれるか	R7. 8. 4	3名	静岡県老人福祉施設協議会
介護職員の技術及び介護の日本語能力の向上	R7. 8. 18・9. 25～26・10. 7	3名	静岡県
介護福祉サービスの向上と人材の育成・資質向上研修	R7. 9. 3	12名	静岡県老人福祉施設協議会
高齢者の転倒予防講座	R7. 9. 17	1名	静岡県社協人材センター
外国人介護職員との関わり方・取り組み	R7. 9. 18	1名	静岡県社会福祉協議会
介護過程の基礎知識の勉強会	R7. 9. 20	3名	ハッピーアンドスマイルカレッジ
腰痛対策・他施設との意見交換	R7. 9. 26	1名	特別養護老人ホーム第二遠州の園
介護過程の展開・コミュニケーションについての勉強会	R7. 10. 4	3名	ハッピーアンドスマイルカレッジ
介護計画の立案・モニタリング等についての勉強会	R7. 10. 18	3名	ハッピーアンドスマイルカレッジ
ストレスの対処法・仕事の工夫とやりがい	R7. 10. 23	4名	静岡県老人福祉施設協議会
たん吸引・経管栄養についての勉強会	R7. 11. 3	3名	ハッピーアンドスマイルカレッジ
介護力向上研修	R7. 11. 14	4名	静岡県社会福祉協議会
体位交換・移乗の介護等についての勉強会	R7. 11. 15	3名	ハッピーアンドスマイルカレッジ
車いす・衣服の着脱・入浴・清潔についての勉強会	R7. 11. 29	3名	ハッピーアンドスマイルカレッジ
業務改善・職員の意欲向上・地域連携に関する研修	R7. 12. 8	1名	静岡県老人福祉施設協議会
食事・排泄等の基本的な介護の勉強会	R7. 12. 13	3名	ハッピーアンドスマイルカレッジ
法人連携について学ぶ合同研修	R7. 12. 15	1名	磐田市社会福祉法人連絡会
適切な目標設定・主体的な行動や行動改善に関する研修	R7. 12. 15	5名	静岡県老人福祉施設協議会
介護現場におけるチームマネジメント	R8. 1. 15	1名	静岡県立大学短期大学
外国人介護人材の受け入れと育成方法について	R8. 1. 23	2名	静岡県社会福祉協議会
老施協西部支部管理者研修会（テクノロジーの再活用）	R8. 2. 26	1名	県老施協西部支部
老施協西部支部研修会（外国人介護職員受入の実際）	R8. 3. 6	3名	県老施協西部支部
外国人人材の活用と『国際介護人材サポートセンター』について	R8. 3. 16	2名	静岡県老人福祉施設協議会
福祉教育推進プラットフォームづくりを学ぶ	R8. 3. 23	1名	全国社会福祉協議会
老施協管理者研修会（社会福祉施設におけるDXの課題）	R8. 3. 23	1名	静岡県老人福祉施設協議会

11 地域交流

一 介護実習の受入状況

団体名等	人数	受入期間
磐田北高等学校福祉科3年生	3名	R7. 6/19～7/18
磐田北高等学校福祉科2年生	4名	R7. 6/25～7/11、10/21～11/7

二 介護体験、職場体験、幼・保育園交流等の受入状況

団体名等	人数	受入期間
磐田市立豊田中学校	22名	R7. 6. 10
磐田市立向陽中学校	80名	R7. 7. 4
磐田市立南部中学校1年生	7名	R7. 9. 25
磐田市立長田原小学校4年生	30名	R7. 10. 7
磐田市立長野小学校4年生	60名	R7. 10. 30
磐田市立長野小学校6年生	62名	R7. 11. 1
静岡県立横須賀高等学校2年生	1名	R8. 2. 2～2. 6

三 ボランティアの受入状況

団体名等	人数	日付
磐田マンドリンアンサンブル（マンドリン・ギター演奏）	10名	R7. 5. 12
wagan（和賀金二郎）（ギター演奏）	1名	R7. 7. 9
エスペランサ（フラメンコ披露）	6名	R7. 7. 19
メロンティ（歌・バンド演奏）	8名	R7. 11. 30
すていろ（歌・バンド演奏）	4名	R7. 12. 13
さくらんぼ会（新春 花笠踊り）	8名	R8. 1. 23
本の読み聞かせ	2～3名	R7. 4/11、6/27、8/1、8/22、9/26、10/24、11/28
きらく会（三味線演奏）	4名	R8. 2. 27

四 関係機関との連携、研究発表、イベント等

名称	開催日	出席者	主催者	場所
令和7年度 第1回研修委員会	R7. 4. 18	1名	静岡県老人福祉施設協議会	静岡県総合社会福祉会館
磐田市法人プロジェクト会議	R7. 5. 19	1名	磐田市社会福祉協議会	磐田Iプラザ
豊田ゆうあいの里見学会	R7. 5. 21, 7. 23	10名	特養ゆうあいの里・西之島の郷	豊田ゆうあいの里
中東遠地区特養職種別研究会（給食）	R7. 5. 23	1名	中東遠地区特養施設長連絡会	特養さやの家
高等学校等と企業を結ぶ情報交換会	R6. 5. 27	1名	磐田公共職業安定所	エコパスタジアム
令和7年度県老協定例総会	R7. 5. 27	1名	静岡県老人福祉施設協議会	静岡県総合社会福祉会館
西貝地区「きずな弁当」衛生講習会	R7. 5. 29	10名	磐田市社会福祉協議会	西貝交流センター
福祉職場説明会	R7. 6. 12	1名	浜松市社会福祉協議会	福祉交流センター
令和7年度 第2回研修委員会	R7. 6. 16	1名	静岡県老人福祉施設協議会	静岡県総合社会福祉会館
中東遠地区第1回特養施設長連絡会	R7. 6. 26	1名	中東遠地区特養施設長連絡会	袋井新産業会館キラット
中東遠地区特養職種別研究会（短期）	R7. 6. 11	1名	中東遠地区特養施設長連絡会	特養袋井ゆうあいの里
第10回磐田市社会福祉法人連絡会	R7. 6. 30	1名	磐田市社会福祉協議会	磐田市総合健康福祉会館
中東遠地区特養職種別研究会（医務）	R7. 7. 4	1名	中東遠地区特養施設長連絡会	特養おおすか苑
静岡産業大学経営学専門演習①	R7. 7. 11	11名	磐田市社会福祉協議会	静岡産業大学
令和7年度夏・SHIZUOKA福祉の就職相談会	R7. 7. 19	1名	県社会福祉人材センター	アクトシティ浜松
ゆうあいの里職員による施設見学会	R7. 7. 23	16名	特別養護老人ホーム西之島の郷	特別養護老人ホーム西之島の郷
静岡県老協西部支部総会	R7. 7. 30	1名	静岡県老協西部支部	アクトシティコンgresセンター
病院・介護施設等連絡会	R7. 8. 8	1名	磐田市立総合病院	オンライン（ZOOM）
令和7年度 第3回研修委員会	R7. 8. 18	1名	静岡県老人福祉施設協議会	静岡県総合社会福祉会館
第14回静岡県高齢者福祉研究大会協議	R7. 8. 18	1名	静岡県老人福祉施設協議会	静岡県総合社会福祉会館
福祉人材確保・定着実践研究会	R7. 8. 19	2名	県社会福祉人材センター	聖隷クリストファー大学
中東遠地区特養職種別研究会（事務）	R7. 8. 26	1名	中東遠地区特養施設長連絡会	特養東海清風園
第14回静岡県高齢者福祉研究大会	R7. 9. 3	15名	静岡県老人福祉施設協議会	アクトシティ浜松
磐田市法人プロジェクト会議	R7. 9. 5	1名	磐田市社会福祉協議会	磐田Iプラザ
磐田北高等学校法人プロジェクト会議	R7. 9. 8	1名	磐田市社会福祉協議会	磐田北高等学校
中東遠地区特養職種別研究会（介護）	R7. 9. 26	1名	中東遠地区特養施設長連絡会	特養第二遠州の園
福祉人材確保・定着実践研究会	R7. 9. 26	1名	県社会福祉人材センター	静岡英和学院大学
令和7年度 第4回研修委員会	R7. 10. 3	1名	静岡県老人福祉施設協議会	静岡県総合社会福祉会館
介護職員復職支援事業	R7. 10. 3	1名	県社会福祉人材センター	特別養護老人ホーム西之島の郷
福祉職場説明会	R7. 10. 9	1名	浜松市社会福祉協議会	福祉交流センター
社会福祉法人指導監査	R7. 10. 28	4名	磐田市政策課	法人本部
静岡産業大学経営学専門演習②	R7. 10. 16	11名	磐田市社会福祉協議会	静岡産業大学
求人事業所従事者研修会	R7. 10. 16	1名	浜松市社会福祉協議会	福祉交流センター
磐田北高等学校実習発表会	R7. 10. 20	1名	磐田北高等学校	磐田北高等学校

名称	開催日	出席者	主催者	場所
静岡福祉大学模擬面接①	R7. 10. 21	2名	県社会福祉人材センター	静岡福祉大学
中東遠地区第2回特養施設長連絡会	R7. 10. 30	1名	中東遠地区特養施設長連絡会	特養西之島の郷
社会福祉法人経営者協議会セミナー	R7. 11. 4	2名	聖隷福祉事業団	オンライン (ZOOM)
安全運転管理者講習	R7. 11. 10	1名	安全運転管理協会	オンライン (ZOOM)
介護の日啓発活動街頭キャンペーン	R7. 11. 11	1名	静岡県老施協西部支部	JR浜松駅
施設間職員交換研修	R7. 11. 17-18	1名	静岡県老人福祉施設協議会	特養くにやす苑
中東遠地区特養職種別研究会 (防災)	R7. 11. 26	1名	中東遠地区特養施設長連絡会	特養灯光園
遠江総合高校業種別説明会	R7. 2. 6	1名	磐田市経済観光課	遠江総合高等学校
静岡産業大学経営学専門演習③	R7. 12. 11	10名	磐田市社会福祉協議会	静岡産業大学
磐田市介護サービス事業者連絡会	R7. 12. 16	1名	磐田市高齢者支援課	オンライン (ZOOM)
介護サービス事業所運営法人ヒアリング	R7. 12. 19	2名	磐田市高齢者支援課	法人本部
中東遠地区特養職種別研究会 (施設CM)	R7. 12. 12	1名	中東遠地区施設長連絡会	特養萬松の里
令和7年度 第5回研修委員会	R8. 1. 9	1名	静岡県老人福祉施設協議会	静岡県総合社会福祉会館
静岡福祉大学模擬面接②	R8. 1. 13	2名	県社会福祉人材センター	静岡福祉大学
磐田北高等学校福祉科看取り講話	R8. 1. 20	1名	磐田北高等学校	磐田北高等学校
静岡産業大学経営学専門演習④	R8. 1. 22	10名	磐田市社会福祉協議会	静岡産業大学
中東遠地区特養職種別研究会 (SW)	R8. 1. 28	1名	中東遠地区特養施設長連絡会	特養松秀園
天竜高等学校福祉科看取り講話	R8. 2. 2	1名	天竜高等学校	天竜高等学校
中東遠地区特養職種別研究会 (中間管理職)	R8. 2. 18	1名	中東遠地区特養施設長連絡会	特養灯光園
磐田市社会福祉大会	R8. 2. 15	2名	磐田市社会福祉協議会	アミューズ豊田
福祉のお仕事魅力発見セミナー会議	R8. 2. 20	1名	県社会福祉人材センター	静岡県総合社会福祉会館
静岡県老施協西部支部総会	R8. 2. 26	1名	静岡県老施協西部支部	アクトシティコンgresセンター
令和7年度春・SHIZUOKA福祉の就職相談会	R8. 3. 1	1名	県社会福祉人材センター	浜松市福祉交流センター
中東遠地区第3回特養施設長連絡会	R8. 3. 19	1名	中東遠地区特養施設長連絡会	袋井新産業会館キラット
令和7年度県老施協定例総会	R8. 3. 23	1名	静岡県老人福祉施設協議会	静岡県総合社会福祉会館

一 主な委員会・定例会議の開催状況

名称	開催状況
安全・業務改善委員会	第1回4. 14, 第2回7. 6. 9, 第3回8. 11, 第4回10. 16, 第5回12. 8, 第6回R8. 2. 9
ケア向上委員会	第1回R7. 4. 28, 第2回6. 23, 第3回8. 24, 第4回10. 27, 第5回12. 22, 第6回R8. 2. 19
レク行事委員会	第1回R7. 5. 10, 第2回7. 14, 第3回9. 8, 第4回11. 10, 第5回R8. 1. 12, 第6回3. 9
リネン・環境整備委員会	第1回R7. 5. 26, 第2回7. 28, 第3回9. 22, 第4回11. 24, 第5回R8. 1. 25, 第6回3. 23
感染・褥瘡予防対策委員会	第1回R7. 5. 8, 第2回8. 14, 第3回11. 13, 第4回R8. 2. 12
事故防止・安全衛生対策委員会	第1回R7. 4. 10, 第2回7. 10, 第3回10. 9, 第4回R8. 1. 8
身体拘束廃止・虐待防止委員会	第1回6. 12, 第2回9. 11, 第3回R8. 3. 12
生産性向上委員会	第1回R7. 6. 12, 第2回9. 11, 第3回12. 11, 第4回R7. 3. 12
職員会議	毎月第2木曜日開催
栄養ケアマネジメント会議	毎月第3木曜日開催
介護部会	毎月第3木曜日開催
ショートステイ運営会議	毎月第2木曜日開催
F L / S W 連絡会議	毎月第2木曜日開催
ユニット会議	各ユニット1ヶ月に1回開催（開催できなかったユニットあり）

二 防災訓練の実施状況

名称	実施日	参加者	備考
自主点検	R7. 4. 1	職員2名	施設館内
通報訓練	R7. 5. 29	職員6名	事務所
消火器使用訓練	R7. 6. 19	職員15名、磐田北高校実習生3名	施設駐車場
防災教育	R7. 7. 24	職員8名	地域交流室
2階避難訓練	R7. 8. 28	職員11名・利用者20名 計30名	2階フロアー
3階避難訓練	R7. 9. 25	職員10名・利用者20名 計30名	3階フロアー
訓練リエゾン	R7. 11. 5	職員15名	地域交流室
一般防災訓練	R7. 11. 12	職員6名・利用者93名 計99名	西之島の郷全館
消火栓使用訓練	R7. 12. 18	職員18名	1階廊下
新任職員防災教育	R7. 12. 29	職員3名	地域交流室
防災教育	R8. 2. 26	職員6名	地域交流室